

HANETO

始まりと終わりはいつも 表裏をひとつに

短い夏が来た 命を焚べる祭りが来た

夜空へ轟く大太鼓 熱を帯びる街

寂しそうな横顔は 何を想う

栄光の時代もやがて 新しい時代に吞まれ

けれどまた季節がめぐるように

何度でも 何度でも 何度でも 始めればいい

跳べ 跳べ ひとりじゃないんだよ

跳べ 跳べ ここにいるんだよ

今この瞬間が 小さな羽となる

跳べ 跳べ その羽集めて

跳べ 跳べ 翼を創ろう

雲突き抜けて 一緒に行こう

これでもう夏が終わるねと 君がつぶやいた

だからこそ心燃やす 祭囃子

いくつもの願いは裂かれ 残るのは痛みだけだと

それもまた運命と笑うのかい

そうじゃない そうじゃない そうじゃない 諦めないで

跳べ 跳べ 終わりじゃないんだよ

跳べ 跳べ 続いていくんだよ

心の中に願うものがあれば

跳べ 跳べ 胸に炎を

跳べ 跳べ 掴め鼓動を

時を駆け抜け 一緒に行こう

何度でも 何度でも 何度でも 始めればいい

跳べ 跳べ ひとりじゃないんだよ

跳べ 跳べ 僕がいるんだよ

跳人の足よ 勇敢な羽となれ

飛べ 飛べ その羽集めた

飛べ 飛べ 翼で羽ばたけ

雲突き抜けて 一緒に行こう